（大正十年十二月二十二日 第三種郵便物認可）

夕刊 磐城新聞　九月十二日發行

（日曜祭日翌日休刊）振替東京一〇六五五八番

天氣豫報（小名濱測候所發表）
今晩 南の風晴れたり曇
明日 南の風晴一時曇

新秋隨想 印象と追憶（中）

五十嵐雄之

二、或る日の青沼市長

『自然』『脫俗』といふやうな文字を蘇峰先生印象記で用ゐた私は、こゝに我等が老市長靑沼先生の或る日の姿を舒べてみたい。

氏はいま我等が市長として、日々市政を總攬しつゝあらるゝので、私的交際は勿論、私人としては未だ何等の關係を持たない私だとは云へ、氏、讃詞めいた言葉を呈することは市長も迷惑であらうし、私としても好まぬところであるが、しかしこの感想は決して私一人のみの感じではなく、市民の大多數が同じく感じ共鳴して居ることを知つたので敢てこゝに述べることゝする。諒恕をお願ひしておく。

出征兵士の見送りにも仕事の都合、時間の都合で行き兼ねて失禮することの多い私が或る日出征知人の歡送に平驛前の歡送式場へかけつけたことがあつた。式次第に從つて靑沼市長の歡送の辭となつた、あの短軀白面の上品な温容を、しづ〳〵と出征兵士の前に運ばれた市長は、原稿もなく諄々と氣取らず飾らず宛も父の子に訓へるやうな態度を以て送別と激勵との訓辭を述べられるのを聽いてゐるうちに、私は何時しか流涕滂沱抑へることが出來なくなつて、傍らの人々から顏を覗かれて困つてしまつた次第であつた。はじめてきいた老市長の訓辭、情理兼ね備へた温き言葉に、出征軍人ならざる私まで感泣してしまつたのである。折柄降り出した雨に市吏員は洋傘を擴げて老市長にさしかけたところ、斷然これを斥けて、そぼ降る雨に濡れながら語をつゞけられてゐた姿が、いまでも私の眼の底にやきついてゐる。聞けば靖國の英靈を迎へた市葬場に於ける市長の式辭も遺族や參列者の胸を打つと知人がいつてゐた。あの自然な溫容からにじみ出る市長の言葉には言靈がこもつてゐるといはねばならない『文は人なり』と樗牛はいつたが、演說も亦人なりである。この尊敬すべき市長を我等が市長として戴く平市民は大きな誇を感じてよいと思ふ。

9月13日

△乃木將軍殉死（大正元）△九代目團十郎歿す（明治三六）△大同占據（昭和一二）△ズ・ド黨、政府に戒嚴撤回要求の最後通牒を發す（同一三）

秋相聞

豬狩牧秋

○深み行く秋にてあるか月の野をそゞろ歩めば人し戀はるゝ
○やるせなき憤りかや外に出れば芙蓉の花の咲きて居にけり
○血は冷たくて呼吸なき人のそれの如く己が心を見つめゝ生
○幼き日わが寂しみき小山田を一人すぐこのゆふぐれに
○日の中の暑さは去れり夕づけば西風吹く頃となりにけるかな
○恐ろしきわが運命かも占はなむこゝろうごけど思ひ止めたり

時事偶感（軍政十五周年）

磐翁 小野翁平

一從皇風國基開
日々昭々王道恢
士卒千秋重忠節
精英攘伏烈强來

その日〳〵

○

二重帶三重にあまれば新しき、浴衣さみしき夕べなるかも　莫哀

講談 振袖横町（ふりそでよこちやう）

（27）　須藤鐘一　荻原萬象畫

わな（三）

『ほんとうにさうでございます……。けれど妾がお屋敷に上りましたら、お父上様と何とか仕官の道もつきませう……』

『意氣地がないやうだが、わしもそれを賴みの綱と致しをる。先刻參つた梅吉とか申した人の道場には女手がないと見えて、袴の裾のつぎも男手で直したやうであつたわい。あの男の師匠中坊平九郎と申す者は劍を取つては有數の使ひ手なれど、その生活は豊ではない……』

『それに今の時勢では、知らざるを知らずと爲すは馬鹿正直者。餘り智慧のある者のすることではない。心得ぬこととまでも、心得たと言ふのが當意即妙と云ふものぢや、其方もお屋敷奉公に參り、如何様なつとめをなすかも知れぬが、このだけは心得て置くがよい……』

『はい』

『おゝ、おたか、五兵衛が置いてまゐつた金がこゝにある。兩三日のうちに迎へが來るとか言ひ置いて參つたのぢやから、この金で身なりを整へねばなるまい。わしも一緒にまゐらう。』

『でも、その御身体で』

『案じるには及ばん、少しはそゞろ歩きも致した方がよいと思ふのぢや。』

『はい』

『早う支度をいたせ』

二人は連れ立つて、家を出たのであつた。

×　×　×

扨て、こちらは信濃屋の五兵衛であつた。平藏の家を出ると、自分の家の間近な一軒の家

『御免なさいまし』

『誰でえ……』

『へい、信濃屋五兵衛でございますが……』

『あゝ、あの口入屋の五兵衛さんかい……。今大將はゐねえんだが、何が用事か？』

出て來たのは、無賴漢らしい姿の若者。

『へい、ちよつと旦那様にお願ひ仕り度いことがございましたのでお伺ひ致しましたのですが』

『さうか、それは氣の毒だつたな。どうだい、今小半刻も待つてゐれば、大將は御歸還になるんだ。た[illegible]出來てゐるんだ。たまにはつき合つて、小使錢を儲けちやどうだい！』

『へッへッへ……。わつちは、その方は至つて下手で。』

『下手も上手もありやしねえ、こいつばかりは、運賦天賦だ。』

『へえ、さうでございませうが大事な用事を控へて居りますのでございますから、いづれ、後刻再びお伺ひを致します。お歸りになりましたら、五兵衛がお賴み致し度いことがございましてお伺ひ致しましたとお傳へ下さいまし』

『合點。承知之助と來た。だが、五兵衛さん、こゝの大將に賴むからにや、金儲けだらうな、わつちも、張れば取られ、張らば取られここ一文無しだ、ねたを少し貸しゃ呉んねえか。』

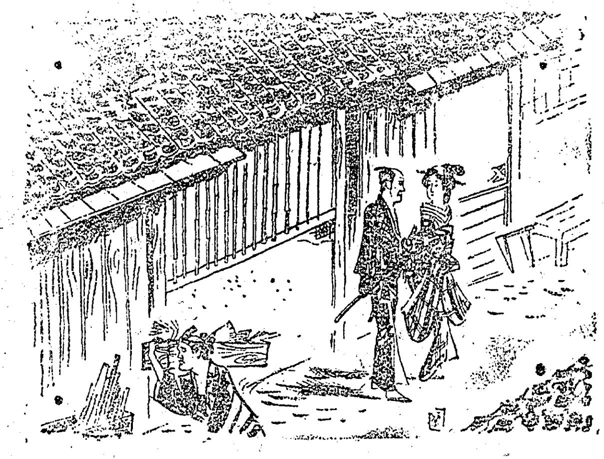
『御冗談ばかりおつしやいまし……』

『冗談ぢやねえ、五兵衛さん、こゝに來たのぢや、二歩や一兩の捨て金は仕様がねえだらう』

『へえ、ではこゝに一歩ありますから、これだけで御勘辨をなすつて下さいまし。いづれ後刻お伺ひ致しますから……』

『たつた一歩か』

無賴漢のかう云つて呟く聲を後に五兵衛は立ち去つた。



御誂ひも既製品も
髙島屋洋服店
平 電三六番

◇住宅地分讓◇
都心に近き保健境
平第三小學校東北方約二萬坪
金より物の時代
「安全の土地」

支那事變前では、投資家の投資物も種々雜多で、その向き向きに依つて、投資せられたものもありますが、事變の進行と共に各方面に於ける統制の强化は、全く自由に各方面への投資が抑制せらるゝこととなりました。その間に存つて殘されたる安全堅實にして、而かも至極有利なる投資としては、先づ第一に土地を擧げねばなりません。殊に最近に於けるインフレ傾向は、全國的土地投資額熱が第一位と云つても過言ではないのであります。蓋し經濟界に於ける統制は、物價の抑制を招來してゐますが、獨り土地の價格には統制がなく、而かも遊資家の放出先に困つた投資が、期せずして土地に向つて來るのは、當然の歸結とも云ふべきであり、更に一面に於いて、事變終結に想を致すとき戰勝インフレの幕が切つて落さるゝこととなれば、産業界の殷盛と共に土地價の昂騰は期して待つべきものでありと存せられます。從つて古來土地に投資した者には、殆んど全部が數十割の利益こそ見れ、決して損失はないと云はれてゐるのも、宜なる哉と思はれるのであります。

大小各口の御相談に應ず
御希望の方は市内田町一九蓮沼方（電話七八七番）へ御問合せ下さい

登録商標 家傳良藥 ゆでくすり ムテキ
一袋三十錢 二袋五十錢 五袋一圓
切傷洗滌等ノ苦痛ナク快癒スル理想的家庭療法藥ナリ
主治効能
ゆびはれ、きりきず、りんびやう、ばいどく、やけど、ちゝはれ、くさかさ
○毒ウミヲ吸出ス事ナリ
○凡そ膿を持つ疾患にお悩みの方に御試し下さい
製劑本舖 宮城縣 ムテキ商會
代理店 平市古鍛冶町十番地（縣社下） 阿康藥局 電話四十四番 振替東京三〇〇六五番
各有名藥店ニアリ

産婦人科専門
根本醫院
平市南町
（入院隨時） 電話三四番

ミシン
石川ミシン店
平驛前大通り（シンガー）
世界代表 シンガーミシン
日本代表 アサヒミシン ニッポンミシン コントロール
◎月賦販賣 ◎無料教授

醬油は……ヤマフル
味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食品料
壚屋 山崎合名會社
福島縣平市 電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

外科一般
内臓外科 肛門病科 皮黴科 泌尿生殖器科（婦人科 性病科） 専
平市字鎌田 白
看護婦及見習看護婦

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下電六七四

御知らせ
和洋結髪、パーマネント
御婚禮用 貸衣裳 貸かつら
御用命の程を御願ひ致します
平市新田町 手塚美容院

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平市南町一六番地 電一七〇番
（入院隨意 病室完備）

室内用竹レール創始
高尚優美 無音低廉 防虫防腐製品
國華竹レール
一番美レイ一番打付ケヨイ音セヌ
實用 第二一四二八八號 新案 一九三六四七
京都府園部町 國華竹レール 第一工場 仝綾部 仝第二工場 仝宮津町 仝第三工場
東北六縣一手特約店
合資會社 平銅鐵機械商會 KS
代表者 井尻七三郎
國華竹レール部
一縣一市御特約店ヲ契約
一縣一町一村ニ小賣店特約店ヲ望ム
詳細ハ拙社御照會ニヨリ社員見本持參御相談ニ可應候

言論の嵐、文書の洪水

目まぐるしい局、署、各事務所

蓮沼派けふ舌戰第一聲

愈よ最後のゴールスりが、僅か二週間足らずの目睫に入つて、各候補者の文書、言論戰線は漸く本格的に展開し、雪崩れ込む書狀の區分消化に奔命する局、矢繼早に開かるゝ演說會の立會に忙殺さるゝ警察の目まぐるしさは各事務所の緊張と同じく漸く選擧氣分を濃化させてゐる。蓮沼派では今十二日飯野を皮切りに言論戰の第一聲を揚げたが次の日取りにより投票前日の廿四日夜迄繼續する事になつてゐる

蓮沼候補演說日割

十二日午後一時 飯野小學校
午後六時 高久小學校
十三日午後三時 江名小學校
同 六時 豊間小學校
十四日午後一時 中三阪小學校
同午後六時 澤渡小學校
十五日午後一時 永戸合戸小學校
同午後六時 箕輪大利小學校
十六日午後一時 玉川小學校
十七日午後一時 內郷村昭和館
同午後六時 磐崎村長倉校
同午後七時 湯本舊校舍
十八日午後二時 小川小學校
同 六時 赤井第一小學校
十九日午後二時 草野小學校
同 六時 神谷小學校
二十日午後六時 夏井小學校
二十一日午後六時 內郷御廐小學校
二十二日午後六時 好間好樂館
二十三日午後六時 小野田戸部坑
同午後七時 內郷內町小學校
二十四日午後二時 內郷磐城劇場

各派演說會日割

今十二日の各派演說會日割は(蓮沼)飯野・高久(木村)永戸、澤渡三ヶ所(齊藤)豊間(荻原)江名、鹿島、永崎分敎場(大井川)泉△十三日(關內)市內九品寺

署高等室市內電話連接

選擧の白熱化と共に各候補の事務所から署高等室へ急速を要する質疑の電話が輻湊―事務の能率上極めて支障多いため今十二日から同室へ市內電話が直接連接する樣臨時の取りつけが行はれた

一票を行使して秋刀魚漁りへ

江名町で不在投票開始

季節のサカナ秋刀魚は愈よ二十一日が解禁であり、漁區は今の處金華山沖二三百海里の地點の見込みで今からその豊漁が豫想され地方の漁船は昨今兆々出動を開始し岩手縣釜石、宮古、宮城縣女川附近で待機に入るが江名濱に於ける同漁船二十餘隻、この乘組み約三百名中多數有權者は選擧日以前に出動する關係上投票が出來ぬので町では昨十一日から之らの有權者に不在投票を開始したが初日の昨日は二名であつた。右の投票は最終日迄繼續するが各出帆の日取りから見て來る二十七日頃迄には大体結了する模樣である

○…青沼市長出福 青沼市長は十二日福島で開かれた物價委員會に出席のため出福

日曜も平常通り

選擧郵便物取扱ひ

選擧期間中に挾まる來る十七日、二十四日の兩日曜に當り平局では郵便物の窓口受付時間を平常通り(自午前八時至午後十時)取扱ひ特に投票前日に當る二十四日は平常の通り配達し、時局下の選擧に大便宜を圖る事になつた。尙ほ速達郵便物となす物は取扱時間に拘らずその引受をなすと

東鐵局長來平

大工町踏切陳情

東京鐵道局長平山孝氏は明十三日午後四時四十分着で來平住吉屋本店に一泊翌十四日朝八時出發自動車で小名濱港及び磐城、入山兩炭礦を視察するので市ではこの機を利用し懸案大工町踏切の改修工事促進に關し陳情する

○…健康保險醫指定 市內南町鈴木齒科醫院主鈴木與一郎氏は健康保險齒科醫に指定された

湯本無盡合併成る

政府の方針に則り資本金卅萬圓に增資

湯本町湯本無盡會社並に福島無盡會社は政府の金融業整理方針に則つて今回合併し資本金を三十萬圓に增資名稱を福島縣無盡金庫と改稱することになり九日吉野福島無盡專務取締役、比佐湯本無盡常務取締役の兩氏が代表出縣し縣商工課を通じて左記の合併理由書を提出內認下を申請したこれによつて兩社は近く株主總會を開き正式合併增資を決定の筈であるが營業區域は兩社現在のそれを踏襲し縣下一圓となるわけで兩社の合併申請は縣內に於ける現存五無盡會社のトップを切つたものである

合併理由書

我國未曾有の非常時に際會し國民の總力を以て此國難を打開し國運の恢弘を願望すべきの秋庶民金融に携はる無盡者の責務愈々重大を加へたり我等は此の時局に對應し當局の勸奬に基き兩會社の合併を實行して資本の充實強化經營の合理化に努め地方金融の圓滑なる運用に貢獻し產業の隆盛と共に聊か國運の興隆に寄せんとす、素より湯本並に福島の兩會社は共營業精神は社會共益を重視する點に於て相一致し合併の可能性最も多きに鑑み兩會社の當事者は一切の私情を捨て公義に基き兩社合併に志したる所以なり

自轉車業商組結成

市內の自轉車販賣修繕業者二十餘名は近く平自轉車商業組合を組織する

女店員養成講習實施

秋、忙しい平紹介所

平職業紹介所では市內商店員の軍需會社、工場への轉出による手不足を補ふ女店員の養成講習會を愈よ來月一日頃から二週間位每夜六時から八時迄二時間同所に開き夫々斡旋しその成績を見て今後も隨時開く方針であると

尙さきに養成した製圖工に對しては目下適當な求人口を物色中で又明春の卒業兒童に對しても職報の職業指導に着手する等夏の閑散季からそろ／＼多忙な秋に入つて所員一同張り切つてゐる

陣中を聽く

(461)

縣代表の慰問使や同社の知人にも會ふ

元入山從業員 加藤新治君(通信)

先日七月七日事變三周年記念に縣代表で縣會議員五名の方々が中支方面慰問に來られその中に平市の蓮沼龍輔さんが居られ銃後の堅實さや、會社の隆盛發展等をきかされ最後に向一層軍務に精勵する樣に激勵されて他戰線に向はれました、同郷の人々にも時々逢ひます、此の間の〇〇戰闘の時には全部隊目的地に集合したものですから五人(立花、小島、柳沼、青葉、四人名前忘れ私)が一度に顏を合せた時には喊聲を上げてしまつた位でした。

おかげ樣で五人共皆元氣でしたから御安心下さい。越智中尉殿や青葉の高橋君、松田君等にも逢ひます

銃後に深謝

長橋町出身 島崎巳三郎君

拜啓御懇書有難う御座いました。

鄕土の皆々樣にも御健存にて御活動の由何よりの御事と戰地の吾らも心置きなく充分なる御奉公出來ますし、內地に在りましても物資統制、增稅又は出征將兵の遺家族を守れと寸暇も無き御活躍には只我等第一線部隊も感謝に堪へない處であります。

當〇支は炎天下百四十度の殺人的な酷暑ではありますが一回の風土病にも冒されず日夜健闘致して居ります、之も皆樣の御後援の賜と只管感謝し居る次第です

現在は當地第一線警備で宣撫工作に努力致して居ります。戰闘部隊と異りまして警備隊となりますと實際皆樣に對しても(略)面目なきと思つて居ります。殘念乍ら今迄の戰場でも申上げます樣な働も無く汗顏の至りです。併し新戰場に臨むことも近き事でせう。其の時こそ東北男子の名を辱しめぬ樣思ふ存分働きます。

銃後の皆樣も吾ら第一線の兵士に負けない樣銃後の護りを鞏固ならしむる樣御願ひ申上げます。先は粗筆乍ら御通信旁々御通知迄。

縣會議員候補者一覽表

候補者	職業	事務所	事務長
野崎滿敏(五九)	自動車業	市內田町	山野邊義政
關內正一(四五)	油業	市內三丁目	多田井笑次郎
蓮沼龍輔(四八)	新聞業	市內田町	渡邊清
齊藤晃(三八)	味噌醬油	湯本町	高木秀雄
木村守江(四〇)	醫師	四倉町	門馬倉次郎
荻原義雄(五三)	齒科醫	市內鍛冶町	吉田寅之助
草野三郎(七〇)	農	市內才槌小路	鈴木盛之助
大井川正己(三七)	雜貨商	湯本町	平子玉男
小野晋平(五五)	酒造業	小名濱町	水野政次郎
蛭田虎次郎(五九)	製材業	湯本町	川崎善彌
坂本龜太郎(五八)	味噌醬油	植田町	成瀨巳三
赤津庄兵衛(四五)	味噌醬油	植田町	坂本淺次郎

お互負擔が輕くなる

本年度戸數割補給金割當決る

平市の今年度前期特別稅戸數割は歳入欠陷の補塡等で昨年度より一寸高かつたが後期分は待望の一般補給金が交付さるることに決つたので幾分輕減されることになつた

補給金の本縣割當額は二百五十二萬四千六百四十一圓で昨年に比し十四萬千六百八十圓多く、未だ市町村割當が決らないのでどの位戸數割輕減に充當されるかは判らないが市當局では右決定次第、例によつて出征軍人遺家族減免や一般の輕減を算定する筈である

齊藤少將講演會

國婦支部總會

大日本國防婦人會平支部總會を十七日午前十時半から市公會堂に開き役員改選後本部囑託齊藤少將の講演を聽く

遺家族に種兎給與

軍人援護會事業

本縣軍人援護會では縣下出征軍人遺家族援護のため一世帶に種兎一番と、集結購入資金を給與して養育獎勵を行はせることゝなつた

けふ赤井藥師祭

祈願部隊で賑ふ

けふ十二日は閼伽井嶽藥師の例大祭日、例年ならば午頭から續々と登りはじめる踊り子群に夜の靈場は身動きもとれぬ雜沓さだが今年は時局柄そんな浮はついた氣分はない代り只管に前線の父兄や夫の武運を祈る祈願部隊に大賑ひを呈した

當分荒れません

けふ第二次厄日に 測候所太鼓判

危いところで難をまぬかれた去る二日の二百十日に引續き、選擧騷ぎの裡に迎へた第二次厄日の今二百二十日は、朝からの曇り空乍ら別段の風さへなく至極無事平穩、測候所でも八月上旬銚子から上陸した豆颱風と下旬南西諸島を經て北支へ向つた颱風が記錄的なものでしたが全國的に順調な氣象配置で、こゝ當分荒れる心配はないでせうと太鼓判を捺してゐる、黃金の穗波漂ふ稻田の上でお百姓さんは秋繭、葉煙草の良好な成績に『豐收三部曲』の秋を謳ふ明朗銃後農村である

公益質屋地鎭祭

市の新事業公益質屋上棟式は十二日午後四時から擧行

地鎭祭執行

煙草收納所

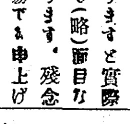
專賣局平出張所の煙草收納所は既報の如く市內新川南小太郞町に建設することゝなり十二日午前十時から地鎭祭を執行

平市慶弔錄

△出生 大室字古室五松崎男氏長男則一君
▲死亡 鯨岡字中山六豊吉さん妻松崎キヨさん(六四)

十三日【小名濱測候所觀測】

滿潮 前二、二〇 後三、二〇
干潮 前九、〇五 後九、〇五



新九月十三日 水曜 舊八月朔日 癸丑 友引 定 軫宿

▲一白 小事につまづきて大事を敗ることあり守るが勝▲二黑 四圍の無事なるより却て心の緩みを生ず▲三碧 岩頭にらん踊する樣な危險の地位にある凶日▲四綠 外の事よりも內を整へてみだれぬ樣にすべし▲五黃 不穩無事田園に身を養ふこと尤も可なる日▲六白 發達すべき好時機來る多少の障がいにたわむな▲七赤 新しき勢力が刻々と加はり來る盛運日たり▲八白 逆浪にほんろうさるゝ樣な日強く內を守るべし▲九紫 外にのみ走れば內は手薄となり破れを生ず

アルバムでしたら 全國印
全國印アルバムの感覺新鮮な圖案
全國印アルバムの堅牢な裝幀
全國印アルバムの嚴選せられた紙質等を實物に就いて御覽下さい
只今數十種入荷いたして居ります氣のきいた御贈答用品として好適です
全國アルバム 全國コーナー
特約店 魁文堂 電話313番

外科、內臟外科 エツキス光線科 產婦人科
院長 安齊徹
醫學士 小松千秋
入院隨意 平市田町 安齊醫院 電話四七五番

職工及見
平市月 合資會社 佐藤 電

產婦人科 井坂醫院 平市田町 電五五九

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
秤ノ取繕、垂系・修繕致シマス
關內藥局 電話四〇番

只今入荷
金鷄印 天然バター
金鷄ミルクの北海道札幌工場製の天然バターです。
天然バター品薄の折柄是非御用命下さい
1/2ポンド 1/4ポンド詰
西村屋藥局 電話3番

精神病科 腦脊髓病科 神經病科
內務省指定 福島縣立代用精神病院
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生 電話九二五番
入院隨時 院長 醫學士 金森五郎